

選択必修領域 8月4日(金) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-1	学校園をめぐる 近年の状況変化と新たな課題Ⅰ	6時間	全職種	幼・特	80名

テーマ：就学前教育と子どもの育ち

講師：奥田 援史

就学前の子どもの対象とした教育・保育、子育て支援、早期教育などの現状と課題について理解する。また、就学前教育に関するエビデンスを確認し、子どもの発達を保障する教育・保育のあり方を考える。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-2	学校をめぐる 近年の状況変化と新たな課題Ⅱ	6時間	全職種	小・中・高・特	60名

テーマ：学校教育をめぐる社会の変化

講師：濱 貴子(富山県立大学)

本担当部分では、学校教育をめぐる社会の変化を概観し、学校教育の今後を展望する視点の獲得をめざす。まず、消費社会・情報社会・格差社会の進展による子どもや家庭をとりまく生活環境の変容と現状を把握する。そのうえで、PISA、TIMSS、全国学力・学習状況調査といった各種学力調査より子どもの学力の現状を、また、各種統計調査よりいじめ、不登校、少年犯罪など生徒指導上の諸問題の現状を確認する。最後に、教育改革にかかわる近年の答申・提言等を整理し、学校教育の今後の方向性を考察する。

テーマ：児童生徒・保護者の変容とこれからの学校・教師

講師：太田 拓紀

本担当部分では、変容する児童生徒・保護者の現状と課題にせまり、今後求められる学校や教師のあり方を考察する。具体的には、コンサマトリー化、多面的自己、クレーム問題といった子ども・保護者の価値観・行動様式の問題や、協働性、自律性などに関わる新たな学校・教師の方向性について取りあげる。子どもと保護者、学校と教師の問題を、社会との関係からとらえなおすことで、各自の教育実践に資する新たな視野の獲得をめざす。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-3	道徳科を見据えた道徳教育の 推進・充実	6時間	全職種	小・中・特	30名

講師：川那邊 正(草津市教育長)

小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳(道徳科)」が本格的に実施されます。道徳教育は人格形成の根幹を成すものであり、一層の充実が求められています。また、授業では「考え、議論する道徳」をめざした質的な向上も重要な課題です。さらに、道徳科の評価をどうするかについても理解を深める必要があります。

今、道徳教育は大きな転換期にあります。本講習では、道徳教育の基本理念や意義、指導方法、評価等について理解を深め、充実への方途を見出すことにします。特に、教材解釈や授業構想については、具体的な教材を取り上げ、協議や演習も取り入れながら、実践に繋がるような講習にしていきたいと思えます。

受講されたみなさんが、道徳教育についての理解を深め、個々の指導力や授業力を高めるとともに、学校の道徳教育全体を推進する力も高めていただきたいと期待しています。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-4	教育理念を共有しながら進める学校、 園、地域社会との連携及び協働	6時間	全職種	幼・小・特	50名

講師：中井 清津子(相愛大学)

社会や産業構造が急激に変化する中で、子どもたちはどのような未来を創っていくのか、社会や人生をよりよいものにするために、人間として何が大切なのかなど、学校教育の中でこれからの時代に求められる資質や能力について新たな視点から論じられています。このような中で、学校園、家庭、地域社会と教育理念を共有しながら、様々な教育課題について、連携し子どもの成長に社会全体で協働的にかかわっていく取り組みについて考えましょう。

- ・連携及び協働の必要性
- ・幼児、児童にとっての意義
- ・具体的な実践紹介(コミュニティスクール等)
- ・ワークショップ(連携、協働を生み出す工夫と実践)

選択必修領域 8月4日(金) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-5	学校が抱える様々な問題に対する組織的対応を考える	6時間	全職種	小・中・特	30名

講師：南出 儀一郎(滋賀県教育会理事副会長)

安心安全でなければならない学校現場では、日々様々な問題が起こり、それに苦慮している現状があります。生徒指導上や教育相談関係の問題、保健衛生に係る問題など日常的に起こる問題があります。また、暴風雨や地震などの自然災害、登下校の防犯上の問題、さらには保護者からの過大要求等もあります。これら学校が抱える様々な問題や課題について、危機管理の点から学校、保護者(家庭)、地域がどのように関わっていけばよいかについて、現場の事例を出し合いながら、それをもとにグループで考え合い、明日への実践につないでいきたいと思いをします。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-6	教育における心理的支援 I	6時間	全職種	小・特	60名

テーマ：愛着と他者像の内在化の理解とカウンセリングマインドの実践的学び

講師：芦谷 道子

子どもの心理的問題を理解し、支援するために重要な、愛着形成と他者像の内在化に関する理論について学びを深めます。また、いじめや不登校などの教育現場での問題に対して、子どもや保護者をどのように支援していけばよいかについて、カウンセリングマインドや予防教育的観点からの学びを通して、具体的、実践的に考えていきます。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-7	教育における心理的支援 II	6時間	全職種	中・高・特	60名

テーマ：教師とスクールカウンセラーとの連携

講師：井芹 聖文(京都文教大学)

不登校、いじめ、さらにはインターネットを巡る人間関係トラブルなど、諸問題についての理解と対応を考える上で、教師とスクールカウンセラーに望まれる連携のあり方を考えたいと思いをします。具体的には、教育と心理臨床の視点の相違、問題事象の概要を学びながら、架空事例を素材にしたグループ・ディスカッションを行います。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-8	教育の情報化とアクティブ・ラーニング	6時間	全職種	幼・小・中・高・特	50名

テーマ：ソーシャルメディア社会における教育問題とICT活用

講師：松原 伸一

「社会の情報化」は「情報の社会化」という現象を生じ、「メディアの社会化」をとめない、ソーシャルメディアの存在感を顕著にしている。

本講習では、まず、(1)「社会の情報化」から「情報の社会化へ」の移行について解説する。

次に、(2)「教育の新科学化」として、2a「新しい教育内容」、2b「新しい教育方法」、2c「新しい教育手段」について論じ、2aでは情報安全、2bではアクティブ・ラーニング、2cではICT活用について取り扱う。

さらに、(3)「情報とメディアの科学」として、メディア情報学をベースにした「教育の情報化」を取り上げ、ソーシャルメディア社会の教育について考察する。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-9	学校における安全・危機管理の課題と対応	6時間	全職種	幼・小・中・高・特	80名

テーマ：学校防災・防犯とクレーム対応

講師：矢崎良明(鎌倉女子大学)

日本各地で起きている地震災害。事件から15年を経過している学校犯罪史上最悪の、大阪教育大学附属池田小学校事件。これらのことを中心にして、学校防災・防犯について考えます。次期学習指導要領改訂では、学校安全について各教科等で指導内容が充実し明確になる予定です。また、いじめや校内での事故などによる保護者の対応が大きな課題となっている中で、保護者とどのように対応したらよいか。クレームにならない手立て等についても講義します。

テーマ：子供を事件・事故災害から守るために

講師：藤岡 達也

今日、学校では、子供を事件、事故災害から守るために様々な取組がされています。学校安全を進めるにあたって、安全管理、安全教育、組織活動についての理解を図ります。そして、国内の学校安全の現状や東日本大震災後の喫緊の課題を紹介し、近年、滋賀県等で進められている地域と学校との連動した取組などを紹介します。チーム学校としての取組が求められる中、持続可能な社会や地域をつくる、これからの学校や教育活動についても考察します。